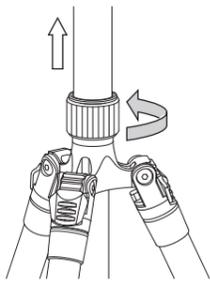
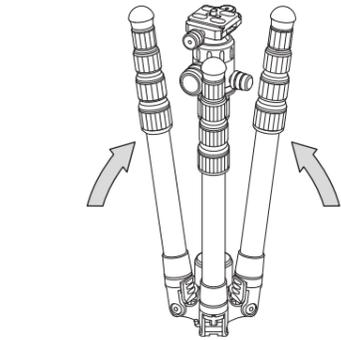


収納



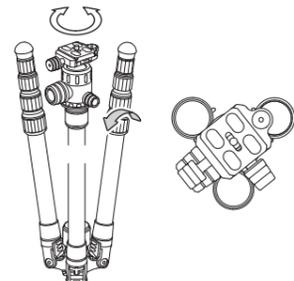
脚を180°反転させると、よりコンパクトに収納できます。

初めに、太い方のエレベーターロックナットを緩めてエレベーターを一番上まで引き上げます。その後、エレベーターロックナットを締めて固定します。



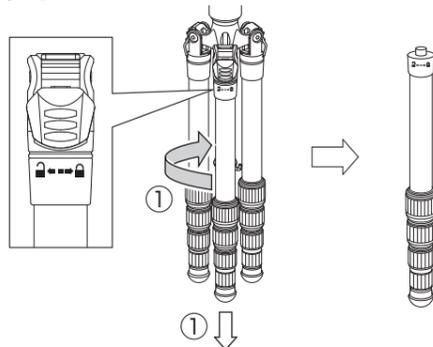
開脚ストッパーを操作して、全ての脚を反転させてください。このとき、閉じ切る少し前で止めてください。

注意

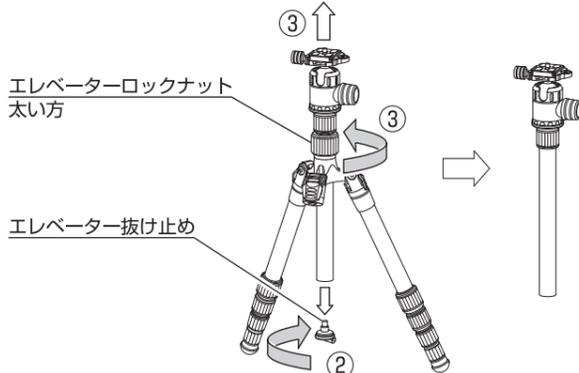


雲台のパンロックノブをゆるめて、ノブが脚の間になるように調整してから、脚を最後まで閉じてください。脚を閉じるときに、指などを挟まないように注意してください。

一脚にする

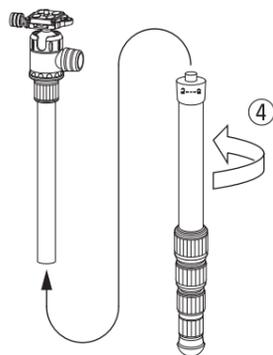


脚・エレベーター・雲台を組み合わせて、一脚として使用することができます。
① マークが印刷されている脚を矢印の方向に回して緩め、そのまま取り外します。



② エレベーター抜け止めを矢印の方向に回して取り外します。
③ 太い方のエレベーターロックナットを矢印の方向に回してゆるめ、エレベーターを上へ引き抜きます。

注意



④③で外したエレベーターユニットに、①で外した脚ユニットを矢印の方向に回してねじ込みます。このとき、ネジ部に指などを挟まないように注意してください。

注意



一脚として使用するときには、機材が転倒しないように十分注意し、カメラや一脚を支えながら使用してください。元に戻す場合は、逆の手順で組み替えてください。

禁止



•三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。破損、故障の原因となります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご相談ください。
•火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

•よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <https://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2026 SLIK CORPORATION

SLIK®

ROVER c

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

禁止 このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。説明にしたい事故のないようお使いください。

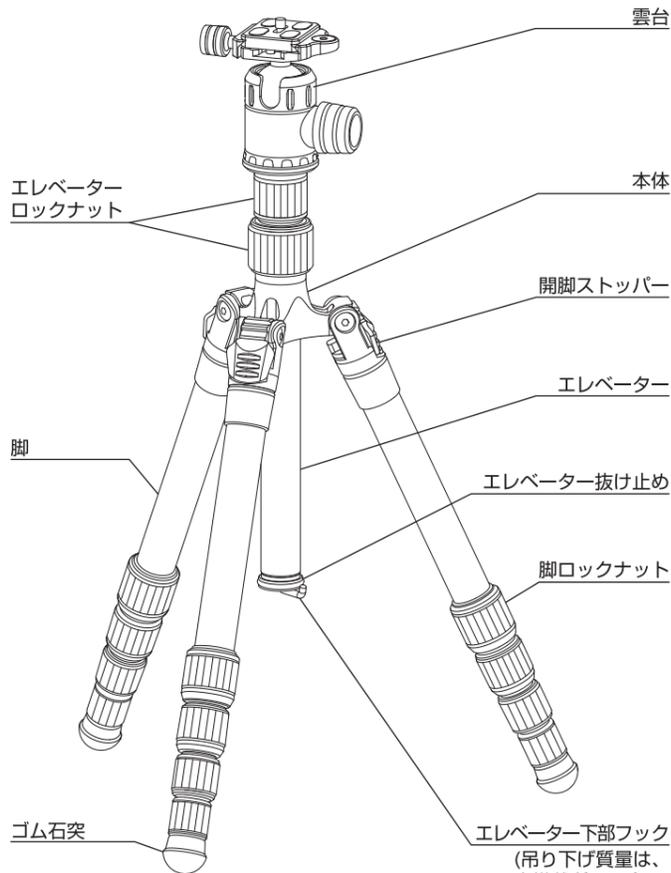
仕様

縮長	370 mm
全高	1,575 mm
EVスライド	345 mm
質量	1,510 g

Y904

三脚ケース付

各部名称



※雲台・クイックシューはアルカスイス互換ですが、他社アルカスイス互換製品の取り付けを保証するものではありませんので、ご注意ください。

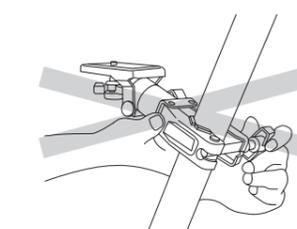
衝撃のあったとき

注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認してください。傷、割れ等が見つかった場合は、直ちに使用を中止し修理を依頼してください。カーボン繊維が出ている場合は、ケガをする恐れがあります。直接触れないようにご注意ください。

クランプヘッド

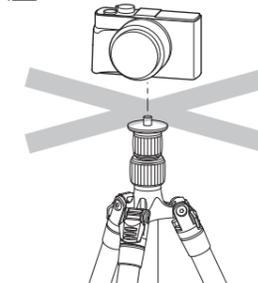
禁止



別売のクランプヘッドは、カーボン三脚には使用しないでください。パイプが破損する恐れがあります。

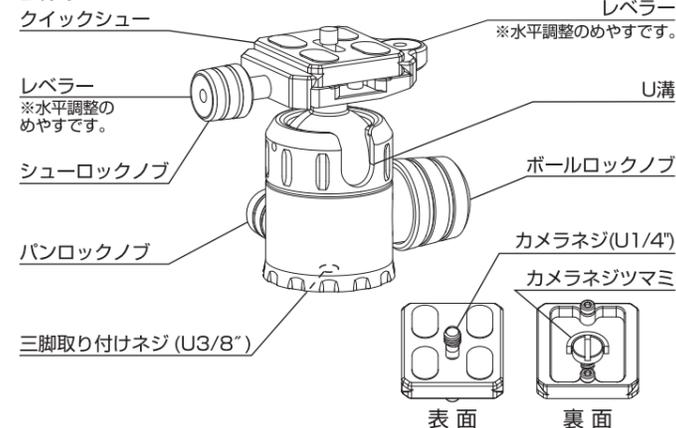
雲台取り付けネジ

禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。必ず雲台などを介してお取り付けください。

雲台



※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

搭載する機材

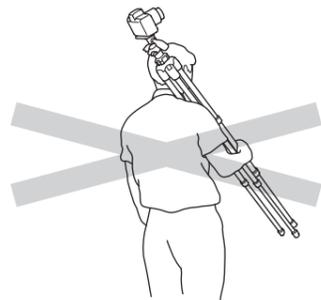
禁止

最大搭載質量：5 kg

これ以上の機材は載せないでください。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

持ち運びのとき

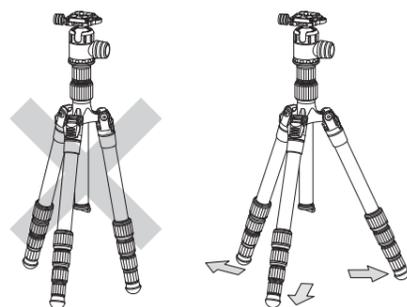
⊘ 禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

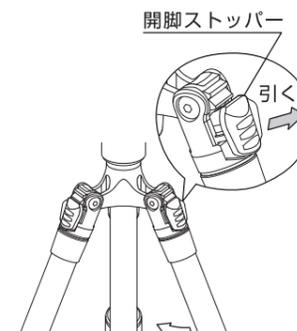
機材のセットアップ

⚠ 注意

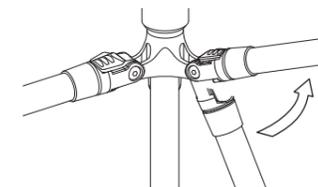


カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。
脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

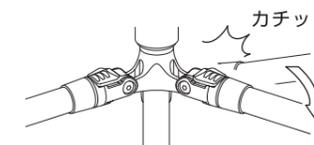
開脚角を変える



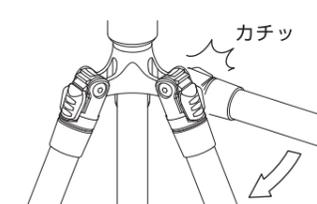
標準の開き位置から脚を少し閉じてから、開脚ストッパーを引き出します。



脚を水平より上に引き上げます。

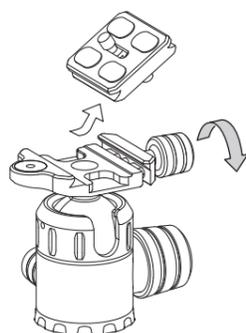


引き上げた脚をゆっくり閉じていくと開脚ストッパーがカチッと鳴ります。この位置がローポジションです。

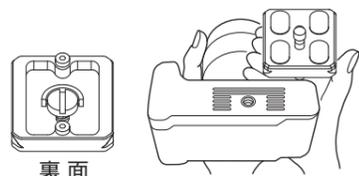


さらに脚を閉じて行くことで、ミドルポジション、標準開脚の順に調整することができます。

機材の取り付け方



クイックシューが上方向に外れるまで、シューロックノブを矢印の方向に回してゆるめます。



裏面

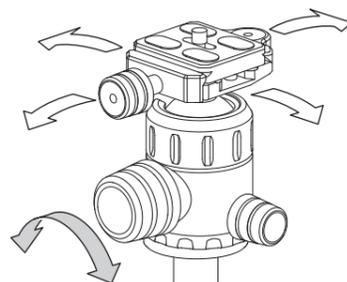
機材の三脚取り付けネジとクイックシューのカメラネジを合わせて、軽くねじ込んでください。
使用する機材に合わせてクイックシューの前後位置を調整してから、しっかりとねじ込みます。
取り付け後は、カメラネジツマミを倒します。

⚠ 注意

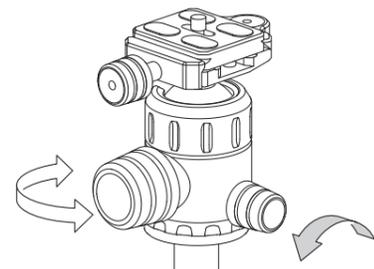


クイックシューを雲台に取り付けてから、シューロックノブを締め付けます。
機材の落下等を防ぐために、クイックシューが動かないことを確認してから使用してください。

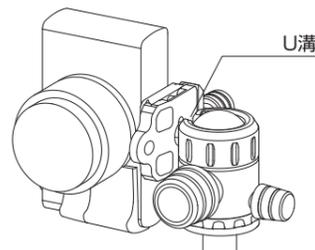
雲台の使い方



ボールロックノブをゆるめると、カメラ台が自由に動きます。
アングルを決めたら、ボールロックノブをしっかりと締め付けます。



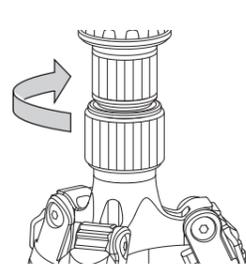
パンロックノブをゆるめると、水平に回転できます。



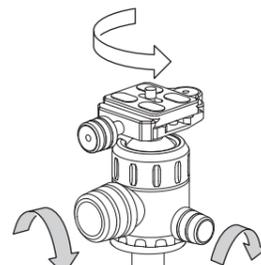
U溝

カメラ台をU溝に倒し込むことでカメラを縦位置にセットできます。

雲台の取り外し方

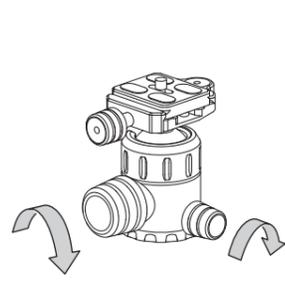


初めに三脚のエレベーターロックナットを締め付けます。



次に、雲台のボールロックノブとパンロックノブをしっかりと締め込み、雲台を反時計まわりに回すと雲台が外れます。

雲台の取り付け方



雲台のボールロックノブとパンロックノブをしっかりと締め付けます。



雲台取り付けネジ

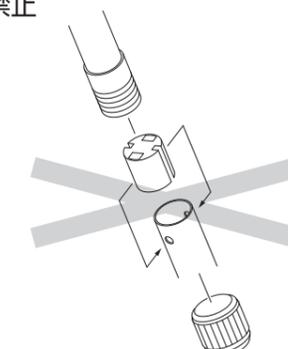
雲台の三脚取り付けネジと三脚の雲台取り付けネジを合わせて、雲台を時計まわりに回し、しっかりとねじ込みます。

脚の伸縮

⊘ 禁止



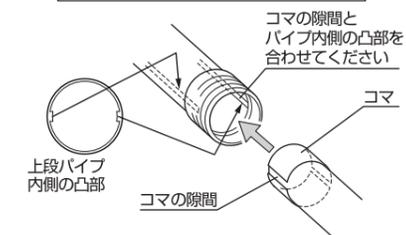
脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。
位置がきまったら、しっかりと脚ロックナットを締め付けてください



本製品は分解等しないように注意してください。
誤って脚ロックナットを外した場合は、上の図を参考に正しく組み立ててください。

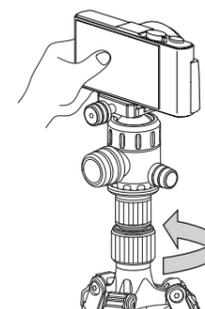
⚠ 注意

方が分解したときは図を参考に位置を合わせて組み立ててください。

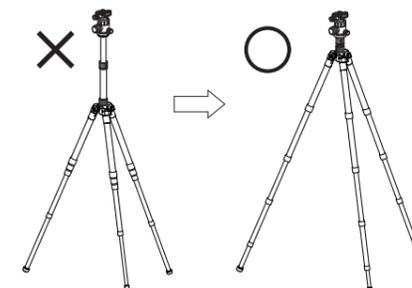


パイプを差し込むときは、ゴマの隙間とパイプ内側の凸部を合わせてください。
確実な組み立てが難しい場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。(無料修理保証の対象外です。)

エレベーターの使い方

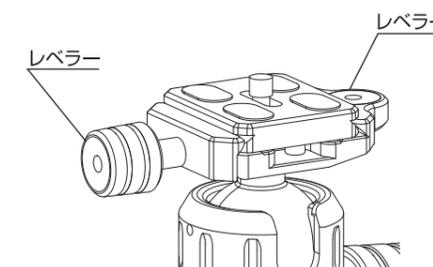


雲台に手をそえてエレベーターロックナットをゆるめます。
雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとエレベーターロックナットを締め付けてください。



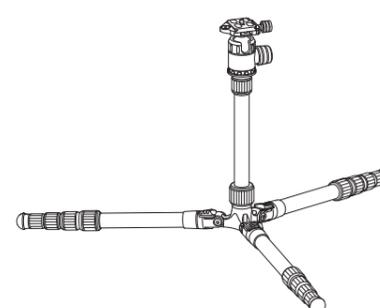
ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。
また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

レバー

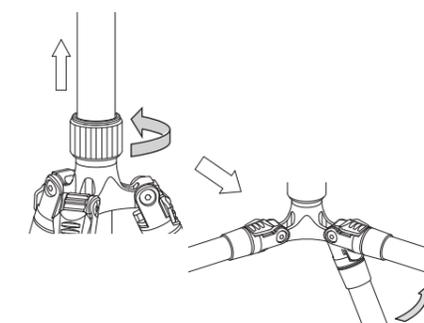


雲台にあるレバーを使用すると、写真撮影時に三脚の水平調整の目安とすることができます。
三脚用レバーは水平調整の目安です。カメラ内蔵のレバーとは精度が異なります。

ローポジション

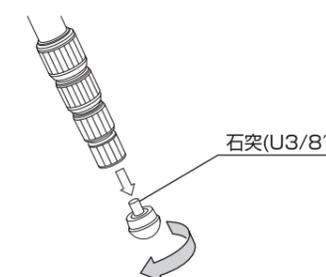


ローポジションにするときは、エレベーターを伸ばしてください。



エレベーターロックナットを緩めてエレベーターを伸ばします。
脚をローポジションの位置にセットします。

石突



石突を取り外すときは、矢印の方向に回して取り外してください。
取り付けるときは、逆の手順で取り付けください。ネジ部に砂やゴミが入らないように注意して取り付けしてください。